

(参考) 平成21年度ごみゼロ推進功労者表彰者一覧

【団体】

名 称	代表者	所在地	推薦者
(オキノウモッタイプロジェクトチーム) 置農MOTTAINAIプロジェクトチーム	代 表 寒河江 豊	川西町 上小松	NPO法人 環境 ネットやまがた 代表
功 績			
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成17年度から、生物資源の地域循環型社会創出を目指した産学官連携の「置賜MOTTAINAI研究会」の一員となり、地元ワインメーカーのワインの絞りかすを中心とした食品産業廃棄物の再利用に取り組み、研究、試験等をへて、水分調整及び成分補強剤に米ぬかとおからを利用した家畜飼料（搾りかすサイレージ）を完成させ、平成20年度から地域農家への供給（年間10トン）を本格的に開始した。</li> <li>穀物飼料の10分の1程度という低コスト化を実現し、ワインベースの飼料を食べさせた地鶏の血液から老化防止に効果のあるとされるポリフェノール成分が通常の2倍以上検出されたことから「わいんDOLLY」の商標登録申請を進め、ブランド化をはかるなど、エコフィード（食品残渣の飼料化）の推進に努めている。</li> <li>平成21年度から、モモやリンゴの搾りかすも活用して年間15トンの飼料製造を計画するなど、農工が連携した地域循環型社会構築に中心的な役割を担っている。</li> </ul>			
受 賞 歴			
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成20年10月 エコ杯やまがた大賞 ・平成20年12月 アサヒビール等主催若武者育成塾最優秀賞</li> <li>平成21年2月 ストップ温暖化「一村一品」大作戦全国大会2009審査員特別賞</li> <li>平成21年6月 環境やまがた大賞 ・平成21年8月 コカ・コーラ環境教育賞</li> </ul>			

【団体】

名 称	代表者	所在地	推薦者
(ゴミゲソリョウモッタイネットやまがた) ごみ減量・もったいないネット山形	会 長 菅野 節子	山形市 旅籠町	山形市長
功 績			
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成18年12月にごみ減量と資源の再利用を推進するため、市民・事業者・行政が連携・協力し実践を行う場として発足し、設立年から比較して6.7%の山形市のごみ減量に大きく貢献した。</li> <li>3R（リデュース・リユース・リサイクル）にリフューズ（不要なものは断る）リペア（直して使う）を加えた「5つのRの推進」を運営方針として、マイバッグ持参運動（リフューズ）、修理の出来るお店を掲載した「もったいないマップ」の作成（リペア）といった取り組みのほか、エコクッキング教室、生ごみリサイクル講座、店頭回収利用呼びかけキャンペーン、リサイクル企業見学ツアー、情報誌やホームページの作成、ごみ減量カルタの作成、ごみ減量推進アドバイザーの派遣など多岐多方面にわたる活動を展開。</li> </ul>			
受 賞 歴			

(参考) 平成21年度ごみゼロ推進功労者表彰者一覧

【団体】

名 称	代表者	所在地	推薦者
(テントウショウコウカクセイジョウセikai) 天童商工会議所女性会	会 長 高橋 ゆき江	天童市 老野森	天童商工会議 所会頭
功 績			
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成7年度から、小学生を対象とした「環境ゴミ問題作文絵画コンクール」を実施しており、平成21年度からは子どもたちの興味を引き出すために、海外の姉妹友好都市と連携して姉妹友好都市コンクールを実施している。</li> <li>平成13年度に「環境・ゴミ問題に対する意識調査」を行い、平成14年度から「マイバッグもてもて運動」を実施し、オリジナルマイバッグの作成、環境講演会、街頭キャンペーン、スタンプラリー、親子ゴミゼロエミッション見学ツアー等のマイバッグ啓発運動を展開。</li> <li>平成20年度から、エコキャップ（ペットボトルキャップ）の回収に取り組み、同時にマイ箸持参運動を展開。</li> <li>平成21年4月に天童エコ展を開催し、市民への環境問題の啓蒙運動を実施。</li> </ul>			
受 賞 歴			

【団体】

名 称	代表者	所在地	推薦者
(ミチノクヤタイコンニヤクドウジョウ) みちのく屋台こんにやく道場	代 表 齋藤 淳	山形市 長 町	NPO法人 環境 ネットやまがた 代表
功 績			
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成19年12月に知的障害者の就労支援を目的に発足し、玉こんにやくの移動販売等の活動をおこなっており、販売に当たっては3R推進の観点から、トレーのリサイクルを行っている企業のものを使用しリサイクルに取り組むほか、常連客にタッパー持参を呼びかける「マイタッパー運動」や、販売車の照明はソーラーバッテリーを使用するなど、福祉と環境を組み合わせた取り組みを行っている。</li> <li>平成21年4月から畑 {名称:「Eco・エコ農場」} (1,300㎡) を借り、山形市役所と同市水道部の食堂から出た生ごみによる完全無農薬有機栽培を実現し、リサイクルの取り組みで栽培したことをアピールする「野(ヤ) サイクルマーク」を作成するなど3R推進の取り組みを行っている。</li> </ul>			
受 賞 歴			